過去　現在　未来
カコからイマ、そしてミライへつなぐ

国勢調査2020

●問い合わせ　企画係（☎２２３局３５７０）

国勢調査は、大正9（1920）年に始まり、以後5年ごとに行われてきた最も重要な統計調査で、今回の調査は21回目にあたり、実施100年の節目を迎えます。日本に住んでいる全ての人を対象とし全国一斉に行われ、人口の状態を細かく把握することで、これからの国の取り組みなどにいかしていくものです。

国勢ってどういう意味？

「国勢」という言葉は、国の勢いととられがちですが、明治29（1896）年に衆議院と参議院で決議された「国勢調査ニ関スル建議」には「全国の情勢」と書かれています。

国勢調査の名前は、英語の"Population Census"（人口センサス）の訳です。「センサス」とは調査対象をすべて調べる調査のことで、「全数調査」とも呼ばれています。

調査の基準日

令和2年10月1日

調査の対象は？

日本に住んでいる全ての人・世帯です。生まれたばかりの赤ちゃんや外国人も含みます。

※統計法では、正確な統計を作成するために、調査に回答する義務（報告義務）が定められています。

調査の内容は？

【世帯員に関する事項】

氏名、性別、出生の年月など15項目を調査します。

【世帯に関する事項】

世帯の種類、世帯員の数など4項目を調査します。

国勢調査の活用

調査の結果は、さまざまな行政施策の基礎データとして社会福祉や雇用対策、生活環境の整備や防災対策など、私たちの暮らしのために役立てられます。

△第１回国勢調査ポスター

時は大正９年10月１日午前０時。第１回国勢調査は、国を挙げてのお祭り騒ぎだったそうです。

当時はテレビやラジオ、ましてやインターネットなどあろうはずもなく、全国民の国勢調査を行うための宣伝に活躍したのは新聞や雑誌。そこで分かりやすい標語を募集し、川柳（せんりゅう）、都々逸（どどいつ）、替え歌などでも国民への周知を行ったそうです。

そして、いよいよ調査時刻。各地でサイレンや大砲、太鼓や鐘が鳴り響き一斉に調査が行われたそうです。

※総務省統計局「国勢調査１００年のあゆみ」「統計の歴史トリビア」参考

比較してみた

芦屋町の大正→昭和→平成

国勢調査100年にあたり、大正（第1回）・昭和（第10回）・平成（第20回）の調査結果を比較しました。

	第1回	第10回	第20回
	大正9年	昭和40年	平成27年
国勢調査結果	1920年	1965年	2015年
人口	7,339人	17,560人	14,208人

第1回と比べて 1.9倍

●芦屋町の人口の最多年は、昭和50（1975）年の19,762人。「およげ！たいやきくん」が大ヒットした年です。

全国の大正→昭和→平成

【出典】総務省統計局

	第1回	第10回	第20回
	大正9年	昭和40年	平成27年
国勢調査結果	1920年	1965年	2015年
人口	0.56億人	0.99億人	1.27億人
人口割合 15歳未満	36.5%	25.7%	12.6%
人口割合 15～64歳	58.3%	68.0%	60.7%
人口割合 65歳以上	5.3%	6.3%	26.6%
世帯数 ※1	1,122万世帯	2,429万世帯	5,345万世帯
1世帯当たり人員	4.89人 普通世帯	4.05人 普通世帯	2.36人 普通世帯
労働力人口 ※2	2,587万人	4,863万人	6,152万人
労働力率 ※3	72.8%	66.0%	60.0%
産業別就業者数 ※4 第1次産業	1467万人（54.9%）	1186万人（24.7%）	222万人（4.0%）
産業別就業者数 ※4 第2次産業	560万人（20.9%）	1511万人（31.5%）	1392万人（25.0%）
産業別就業者数 ※4 第3次産業	646万人（24.2%）	2097万人（43.7%）	3961万人（71.0%）
外国人人口	7.8万人	59.6万人	175.2万人
平均寿命（男/女）※5	42.06歳 / 43.20歳（大正10年～14年）	67.74歳 / 72.92歳	80.75歳 / 86.99歳
6歳児の平均身長（男/女）※6 ※7	107.0cm / 105.8cm	113.3cm / 112.5cm	116.5cm / 115.5cm
6歳児の平均体重（男/女）※6 ※7	17.6kg / 17.0kg	19.6kg / 19.1kg	21.3kg / 20.8kg
平均気温（東京）※8	14.2℃	14.6℃	16.4℃

第1回と比べて 2.3倍

第1回と比べて 22.4倍

出典：※5 厚生労働省「第22回生命表」/ ※6 文部科学省「学校保健統計調査」/ ※8気象庁「過去の気象データ」

※1 世帯数は普通世帯と準世帯の総数。/ ※2 1920年は、有業者方式による。「有業者」は労働力人口、「無業者」は非労働力人口として扱う。「主人の世帯にある家事使用人」は、年齢別に按分し「有業者」に含めた。

※3 労働力人口/15歳以上人口×100で計算。/ ※4 1920年は全年齢の有業者数。※7 1920年度、1965年度、2015年度の数値。1920年度は「生徒児童身体検査統計」として実施。